



兼松のSDGsの理念は、
明治22年に生まれている。

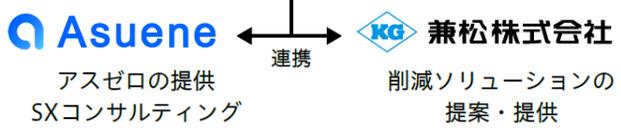
「いま一粒の種をまく」

兼松の創業者である兼松房治郎が、「経済を発展させ豊かにし、人々を幸福にするために一粒の種をまく」と、世界中の人々を豊かに幸せにするために事業をおこす」と表明した言葉です。事業活動を通して社会的な課題を解決し、社会と共有できる価値を創造し続けていくという志を持っていました。創業当時の志は、兼松のDNAとして社員一人ひとりに今も受け継がれています。

脱炭素経営サイクル



算定から削減までトータルサポート



サプライチェーン排出量



- | | |
|--|--|
| <p>導入の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 排出削減に資する技術や製品の提案と提供 削減量の算定ルール策定、算定の実施 | <p>実用化・市場形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 導入から販売までの実証の実施とコンソーシアム組成 製品の販売支援 |
|--|--|



削減ソリューション (例)



再生可能エネルギー



バイオ燃料



デジタルタコグラフ



樹脂サッシ



改質リグニン



再生プラスチック



カーボンニュートラルコーヒー



代替肉

効果的で実行性ある脱炭素を！



- ・どんな削減方法があるのか調べ切れない…
- ・費用や実現性がわからず全社の優先順位が決められない…
- ・取組みアピールでグリーンウォッシュと言われないか不安…

- ✓ 様々な企業の現場で具体的なソリューションを実際に取り扱う知見。
- ✓ アスエネ様や農林中央金庫様と協業し、企業に求められる潮流を把握。



取組み目的 × 排出状況 × 削減効果 × 実現性
➔ 脱炭素の取組みステップを作りましょう！

1 課題の整理

- 取組み目的は？ 投資家要請や規制 or お客様要請？
- 取組みの範囲は？ 全社 or 特定製品？ 自社のみ or Scope 3も？

2 ターゲット選定

- どこを削減する？ 排出量の多い工程？ 注目度高い製品？
- 戦略的な重要性は？ 優先事項は？

3 選択肢のご案内

- **ターゲット排出源に対する削減の選択肢を整理しご提示します**
活動量の削減、排出係数の削減、Scope 1,2,3の選択肢
それぞれの削減インパクトや導入難易度

4 要件定義

- 現在の設備や材料の内容や運用方法は？
- 導入に必要な条件は？ 削減効果やPR効果の優先度は？

5 ご提案

- **削減ソリューションの導入シミュレーションをご提示します**
《効果》 削減効果、PR効果
《課題》 コスト、品質・実用性、お取引先様への影響

6 導入支援

- **削減ソリューションの導入を伴走します**
(弊社お取扱製品の場合)



- ✓ 削減方法の全体像がわかる！
- ✓ 実現可能な脱炭素計画が作れる！
- ✓ 具体的な取組みが始められる！

お問い合わせ先

兼松株式会社 GXアクセラレーター
✉ GX@kanematsu.co.jp